

I	調査地	<p>名取市</p> <p>人口75,906人 面積97.76km<sup>2</sup> (H26.10.31日現在)</p>
	調査月日	平成26年11月11日(火)
	調査事件	議会情報の公開に関する調査
	概要	<p>(1) 議会だより発行スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回各定例会終了の翌々月の1日を目途に発行</li> <li>・発行までに6回の委員会を開催</li> </ul> <p>26年9月定例会を例にする。(11月1日発行)</p> <p>第1回＝開会日の2日前・・・紙面区分など・・・編集会議  第2回＝一般質問の終了後・・・掲載項目調整・・・編集会議  第3回＝条例・補正予算審議の翌々日・・・掲載項目選定・編集会議  第4回＝定例会閉会翌日・・・原稿読み合わせ・・・校閲会議  第5回＝入稿5日後・・・1次校正、読み合わせ・・・校閲会議  第6回＝第1校正1週間後・・・第2校正・・・校閲会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1校正委員会は2班に分けて行い、第2校正は全員で行う。</li> <li>・諸報告以外の原稿はすべて議員が作成する。</li> <li>・一般質問した議員にはCD-ROMを配付し、原稿作成を依頼している。また、質問者と編集委員に執行部の答弁書を配付している。</li> </ul> <p>(2) 議会中継システム内容と費用、導入に係る経過について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中継システムの内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>生中継と録画中継(録画は生中継終了後5日程度で公開)</li> <li>映像は1～5年間蓄積。データはDVDなどに保存、検索は議会名称、会派名、議員名、開催日付、質問事項を必須とする。検索結果の一覧画面には議員の顔写真を表示でき、一度に500人程度のアクセスが可能。</li> </ul> </li> <li>・費用 <ul style="list-style-type: none"> <li>初年度のみ初期費用(20万円+消費税)</li> <li>システム設定費、専用光回線敷設工事費</li> <li>194万4000円(月額15万円+消費税)</li> <li>配信、録画サービスのほか配信運用管理も含む。</li> </ul> </li> <li>・導入に係る経過 <ul style="list-style-type: none"> <li>議会改革実施特別委員会が1年間の議論を経て、平成23年12月7日に調査報告をまとめた。25年9月定例会から実施している。</li> </ul> </li> <li>・平成26年4～9月のアクセス数は、生中継2,525人、録画中継967人の合計3,492人である。</li> <li>・中継開始後、傍聴者が半年で4割減少したというデータがあるが追跡調査はできていない。</li> </ul>
	委員会の	名取市議会では、議会だよりの発行を早めるために、一般質問での工

	ま と め	<p>夫や議案の質疑では担当委員がメモをとり、録音も聞き、議会開会中も編集作業を行い、会議が開かれている。会期中に原稿締め切りを二段構えで設け、原稿ができた分から印刷会社とデータをやり取りしている。</p> <p>岩沼市議会だよりは正確を期すため会議録に基づき編集作業をしている。発行を早めるために議会中に原稿執筆すること、締め切りを早めることについては議会全体の理解と了承が必要であり、委員会としても論議を重ねることが必要と考える。</p> <p>名取市議会では、議会中継・録画の配信について時代の流れという受け止め方が多かったようで、反対する意見はなかったという。アクセス数は多いとはいえないようだが、「緊張感ある議会運営の推進」には寄与しているという。</p> <p>岩沼市議会は、議会中継は復興優先で今後の課題となっている。今後は費用対効果等を考えながら導入を検討する必要があると考える。</p>
II	調 査 地	<p><b>多賀城市</b></p> <p>人口62,511人 面積19.65km<sup>2</sup> (H26.10.31現在)</p>
	調査月日	平成26年11月11日(火)
	調査事件	議会情報の公開に関する調査
	概 要	<p>(1) 議会だより発行スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会の翌々月1日発行(2、5、8、11月)</li> <li>・ 広報特別委員会の委員 6名</li> </ul> <p>発行に当たり委員会は5回程度開催し、掲載記事の決定、記事内容・レイアウトなどについて協議する。</p> <p>第1回＝議会初日(日程確認、内容・担当者決定)</p> <p>第2回＝議会開会中(概要の内容決定、「議論の足跡」の項目・作成者決定、一般質問記事の確認)</p> <p>→担当者執筆の記事を事務局から業者に順次入稿</p> <p>第3回＝印刷業者作成の原稿を校正</p> <p>第4回＝業者が同席し、レイアウトなど</p> <p>第5回＝最終校正(場合により正副委員長で)</p> <p>→事務局最終校正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発行まで約1カ月で編集作業は終了する。</li> <li>・ 一般質問の答弁は、執行部で準備した答弁書を基に議会事務局で作成している。それを質問議員が確認し、執行部でも内容をチェックした上で掲載している。</li> </ul> <p>(2) 議会中継システム内容と費用、導入に係る経過について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中継システム内容</li> </ul> <p>インターネットの動画配信サイト「Ustream(ユーストリーム)」を使って、ライブ中継と録画配信を実施する。対象は本会議と予算、</p>

		<p>決算特別委員会。既存の中継カメラを活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 費用 導入費用で10万円。中継費用は無料。</li> <li>・ 導入に係る経過 市民に分かりやすく身近で開かれた議会を目指す「議会改革」の一環。市当局と協議の上、議会に対する市民の関心を高めることを目的に導入が決まった。(平成25年第1回定例会から実施)</li> <li>・ 課題等 視聴者が集中すると回線状態が不安定となり、映像音声が乱れたり、映像が一時停止してしまうことがある。また、無料のインターネットサイトであることから、相手側の都合により、配信方法が変更されたり、映像配信ができなくなる場合がある。</li> </ul>
	<p>委員会の まとめ</p>	<p>多賀城市議会だよりは定例会終了後、約1カ月で発行されている。一般質問の回答を事務局が作成したり、編集会議に業者が同席することなどで、スピードアップが図られている。</p> <p>岩沼市議会だよりは、議員が自ら作成すること、正確性を重視することを基本として発行日を検討する必要があると考える。</p> <p>多賀城市議会が採用しているインターネット動画配信サイト「Ustream」は、中継費用が無料である。録画を見られるのは3ヶ月限定で、広告映像が流れてしまうというデメリットはあるが、費用が安価で済んでいる。</p> <p>岩沼市議会では議会中継について、費用面での課題が大きいとして導入には消極的であったが、同様のシステムを活用しての議会中継を検討する価値はあると考える。</p>